

コース名		科目名			対象学年		
公衆衛生社会医学		地域医療とプライマリ・ケア			4		
開講学期		科目責任者		副責任者			
2 学期		桑原 篤憲					
目的							
<p>地域医療（地域に密着して行われている医療）では、生物医学的知識のみならず、行動科学や公衆衛生などを含んだ心理・社会的な幅広い知識が必要です。この点において、大学病院で行われている医療とは大きく異なります。他の授業科目では、地域医療を担っている先生方から直接話を聞く機会は少なく、将来、地域医療に関わる学生にとっては貴重な科目です。この授業科目では、プライマリ・ケアの基本的な概念を学んだ後、実際に地域医療の現場で起こっている問題に対して、討議できることを目的とします。</p>							
授業到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. プライマリ・ケアの5つの理念（ACCCA）と生物・心理・社会（BPS：Bio-Psycho-Social）モデルについて事例検討を通して説明できる。 2. 患者中心の医療の方法と家族志向のケア、家族ライフサイクルを説明できる。 3. 行動変容ステージモデルと治療的自己を説明できる。 4. 地域志向性プライマリ・ケアを説明できる。 5. 根拠に基づいた医療（EBM：Evidence-Based Medicine）の4つの要素と5つのステップを説明できる。 6. 診療ガイドラインの推奨文を解釈できる。 7. “説明と同意”と“共同意思決定”の違いを説明できる。 8. 医療従事者とのコミュニケーションに必要な態度を説明できる。 9. 地域医療での保健・医療・福祉・介護の行政組織と地域保健を説明できる。 10. 地域包括システムの5つの構成要素と地域医療構想を説明できる。 11. 保健、医療、福祉と介護の多職種連携における医師の役割を説明できる。 12. 地域医療の現状について、事例検討を通して、討議できる。 							
授業計画							
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容
1	8/27	火	1	講義	桑原	総合臨床	科目オリエンテーション、ICとSDM （参考1）
2	8/27	火	2	講義	豊田	非常勤／学園外	行動変容と治療的自己 （参考2－3）
3	8/27	火	3	講義	豊田	非常勤／学園外	全人医療の基礎 （参考2－3）
4	8/29	木	1	講義	松下明	非常勤／学園外	プライマリ・ケア（プライマリ・ケアの理念、生物・心理・社会モデル、地域包括医療） （参考4－5、17）
5	8/29	木	2	講義	松下明	非常勤／学園外	家庭医療（患者中心の医療の方法、家族志向のケア、家族ライフサイクル） （参考4－5、17）
6	8/29	木	3	講義	依田	公衆衛生	日本と海外との違いから理解する健康の社会的決定要因（SDH:Social Diteminant of Health） （参考6－7）
7	9/ 3	火	1	講義	桑原	総合臨床	多職種連携とコミュニケーション
8	9/ 3	火	2	講義	桑原	総合臨床	（岡山県担当者）自治体と地域医療 （参考8）
9	9/ 3	火	3	講義	加藤茂	総合臨床	行動変容の実際－禁煙外来－
10	9/ 5	木	1	講義	山下直	総合臨床	地域における地域支援病院の役割
11	9/ 5	木	2	講義	松坂	非常勤／学園外	地域志向性アプローチ （参考9）
12	9/ 5	木	3	講義	松坂	非常勤／学園外	ケースで学ぶ地域医療－地域とSDH－ （参考9）
13	9/ 9	月	4	講義	渡部芳	総合臨床	EBMと診療ガイドライン
14	9/ 9	月	5	講義	浅野直	非常勤／学園外	診療所と地域医療
15	9/ 9	月	6	講義	浅野直	非常勤／学園外	ケースで学ぶ地域医療－診療所－
16	9/12	木	1	講義	竹中	非常勤／医福大	地域医療における福祉活動

17	9/12	木	2	講義	川島篤	非常勤／学園外	総合診療科医と地域医療 (参考10-12)
18	9/12	木	3	講義	川島篤	非常勤／学園外	ケースで学ぶ地域医療—地域医療支援病院での総合診療科医— (参考10-12)
19	9/17	火	1	講義	生駒	非常勤／学園外	地域医療を支える医療スタッフの役割 (参考13-16)
20	9/17	火	2	講義	難波	非常勤／学園外	在宅医療と地域医療
21	9/17	火	3	講義	難波	非常勤／学園外	ケースで学ぶ地域医療—神経疾患の在宅医療—
22	9/19	木	1	講義	北島	非常勤／学園外	地域包括ケア病棟の取り組み
23	9/19	木	2	講義	北島	非常勤／学園外	ケースで学ぶ地域医療—地域包括ケア病棟の取り組み—

評価方法

[期末試験]60%

[レポート]20% (ルーブリック評価を用いて評価する)

[出席状況 (受講態度)]5% (グループ討議での受講態度は同僚評価を含む)

[その他]15% (グループ討議の成果物を評価する)

[評価方法]多肢選択試験、出席・受講態度評価、論文・レポート、実習態度評価、その他 (グループ討議の成果物)

[備考]不合格者には補充試験 (記述及び多肢選択問題) を行います。

課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックについて

1. レポートは、教員の指示に従って作成すること。レポートに生成 AI を使用する場合は、「川崎医科大学の生成 AI 取扱い指針」に従い、使用した生成 AI の種類、引用箇所、prompt 内容を提示すること。
 2. 生成 AI の内容には虚偽が含まれている可能性があるため、必ず自ら根拠や裏付けを確認すること。
 3. 課したレポートは、原則、コメントをつけて返却する。
- グループ討議での成果物、レポートを評価します。レポートについては、ルーブリック評価を行い、これを返却します。これをもってフィードバックとします。

教科書

なし

参考書

- ISBN-9784784946396, 参考1 これから始める! シェアード・ディジションメイキング: 新しい医療のコミュニケーション, 中山健夫編, 日本医事新報社, 2017
- ISBN-9784900637603, 参考2 かかりつけ医に必要な心療内科の知識, 日本臨床内科医会/編, 日本臨床内科医会, 2022
- ISBN-9784521737027, 参考3 全人的医療入門: 医療に関わるすべての人のために, 中井吉英著, 中山書店, 2013
- ISBN-9784904865194, 参考4 新・総合診療医学 家庭医療学編 第2版, 藤沼康樹 [ほか], カイ書林, 2015
- ISBN-9784621062456, 参考5 家族志向のプライマリ・ケア, 松下 明 (翻訳), 丸善出版, 2012
- ISBN-XXXXXXXXXXXX, 参考6 公衆衛生がみえる 2024-2025, 医療情報科学研究所編集, Medic Media, 2024
- ISBN-9784260049689, 参考7 健康格差社会: 何が心と健康を蝕むのか, 近藤克則著, 医学書院, 2022
- ISBN-9784990399658, 参考8 生活を分断しない医療: 医療に「依存」する時代から医療を生活資源として「活用」する時代へ: 超高齢社会を生きる医療保健福祉従事者なら知っておきたい!!, 櫃本真幸著, ライフ出版社, 2013
- ISBN-9784904865095, 参考9 家庭医療のエッセンス, 草場鉄周編集, カイ書林, 2012
- ISBN-9784787823847, 参考10 国試・改訂コアカリ対応 地域医療学入門, 日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会 合同編集委員会 (監修), 診断と治療社, 2019
- ISBN-9784525209919, 参考11 病院家庭医: 新たな Speciality, 佐藤健太監修; 宇井睦人監修; 森川暢編集; 松本真一編集, 南山堂, 2020
- ISBN-9784521746029, 参考12 病院で輝く総合診療医, 草場鉄周編集主幹; 川島篤志専門編集, 中山書店, 2018
- ISBN-9784344018624, 参考13 この世の中を動かす暗黙のルール 人づきあいが苦手な人のための物語, 岡田尊司, 幻冬舎, 2010
- ISBN-9784815612993, 参考14 発達障害「グレーゾーン」 その正しい理解と克服法, 岡田尊司, SBクリエイティブ, 2022
- ISBN-9784344985957, 参考15 自閉スペクトラム症: 「発達障害」最新の理解と治療革命, 岡田尊司著, 幻冬舎, 2020
- ISBN-9784040822693, 参考16 カサンドラ症候群: 身近な人がアスペルガーだったら, 岡田尊司 [著], KADOKAWA, 2018
- 参考17 イマイチ先生シリーズ HP https://www.igaku-shoin.co.jp/paper/archive/y2010/PA02874_07

準備学習 (予習・復習等)

<予習について>

- ・ Sindbad システムへ資料をアップロードしますので、事前にその内容を確認してください。
- ・ 各講義で取扱う医療制度などを「公衆衛生がみえる」などで予習をしてください。より理解が深まると思います。予習には15-30分程度必要です。

<復習について>

- ・ 講義資料を元に復習を行ってください。これには15-30分程度必要です。

講義についての注意事項

地域医療を実践している学外講師の先生方に多くの講義を担当して頂きます。その講義には、実際に地域医療現場で経験された、生物医学的のみならず心理・社会的問題が多く含まれています。地域医療現場での問題を理解するよう真摯かつ積極的な態度で授業に参加してください。

昨年度からの変更点・改善項目

- ・レポートに対してルーブリック評価を導入しました。
- ・目的および授業到達目標をわかりやすくしました。
- ・初回の講義の内容を「科目オリエンテーション、地域医療を学ぶ意義」から「科目オリエンテーション、ICとSDM」に変更しました。
- ・「行動変容の実際－禁煙外来－」を追加しました。
- ・生成AIの取扱いやレポートの返却について明記しました。
- ・参考書に番号をつけて、授業内容との関係を明記しました。
- ・参考書に以下を新たに追加しました。参考6、11-12、15-17

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について

地域医療とプライマリ・ケアは、本学の卒業認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）の6つの卒業時到達目標（卒業時コンピテンス）のすべての項目に大きく関連する科目です。本科目の知識と技能を十分に修得した上で臨床の現場に臨む必要があります。

ナンバリング

SLGH422